FY2026｜通期業績予想の修正

（売上成長を堅実な成長ラインへ見直し、通期業績予想を修正。一過性損益を除く正常利益の増進は47%を予定）

© GENIEE, Inc.

（単位：百万円）

	FY2025（実績）	FY2026（期初計画）		FY2026（修正計画）
売上収益	13,377	16,400	15%	15,400
広告プラットフォーム事業	5,455	6,224		6,054
マーケティングSaaS事業	4,459	5,792		5,020
デジタルPR事業	3,513	4,412		4,343
（調整額）	▲51	▲28		▲17
売上総利益	9,776	11,700	9%	10,700
セグメント利益	1,536	2,500		2,500
広告プラットフォーム事業	2,468	2,929		2,923
マーケティングSaaS事業	853	1,418		1,133
デジタルPR事業	540	879		743
（全社・消去等）	▲2,326	▲2,726		▲2,299
営業利益	1,536	2,500		2,050
広告プラットフォーム事業	1,537	2,057		2,057
マーケティングSaaS事業	▲364	8		8
デジタルPR事業	222	497		367
（調整額）	141	▲62		▲382
（一過性損益を除いた正常利益）	1,514	2,400	47%	2,230
税引前利益	1,332	2,300		1,700

売上収益

連結全体では、15%増の成長を持続

- 広告プラットフォーム事業は、国内SSPは堅調に推移しているものの、海外において一部既存顧客で収益減退が発生したため成長率を修正。前年同期比では11%増を見込む
- マーケティングSaaS事業は、ARRは堅調に推移している一方、SFA/CRMでの大型案件の失注等を受け修正。前年同期比では13%増を見込む
- デジタルPR事業は、SEIRYO社*の連結効果が寄与する一方、主力事業において一部大型案件の予算縮小や失注が重なったため、成長率を修正。前年同期比では24%増を見込む

（*FY26 1Qより連結子会社）

営業利益

一過性損益を除く正常利益は47%増

営業利益の通期予想は、25億円から20.5億円へ4.5億円減少する見込みです。このうち3.1億円は、一過性の不正アクセス関連損失及びトラブル対応費用等によるものであり、1.3億円はデジタルPR事業の減益影響によるものとなります。

- 広告プラットフォーム事業は、国内外におけるAI活用を進め効率的な事業運営が進行しており、当初予想を据え置く
- マーケティングSaaS事業は、収益性を重視した事業推進及び構造改革によるコスト削減を進行中、当初予想を据え置く
- デジタルPR事業は、本社移転や人員適正化によるコスト削減を進めるものの、営業利益は当初予想を下回る見込み